

Keio University



東村山三田会 Vol.16

発行人：紘田俊哉 編集人：東村山三田会会報編集委員会

第9回総会開催

会長 紘田 俊哉

会員の皆様方におかれましてはご家族を含めてお元気にお過ごしのことと拝察いたします。

2020年春より続くコロナ禍により、誠に残念ながら各年度に計画した行事等は、この3年以上の間、中止若しくは縮小せざるを得ない結果となりましたが、2023年度は4月16日開催の当会の総会にて既報の役員メンバーのご承認いただき、過去を挽回すべく各種計画を積極的に実行に移すべく開始しております。

既に当会のホームページ、また、先日の総会時の「2022年度活動報告」にて詳細をご報告いたしました。当会の掲げる活動目的の一つ、社会貢献の観点では、連合三田会への3万円の寄付、恒例のDuoの会のコンサートへの経済的・人的サポートを行いました。

1 昨年の Duo の会のコンサートは、コロナ禍の安全確保を考慮し、10月31日に無観客コンサートを実施しYouTube配信で会員の皆様はその模様をお伝えしましたが、昨年は、10月30日に2部に分け、各部ともに客席の半数のご来場を頂き、直に演奏を聴いていただくことができました。

会員同士の交流・親睦をご家族と共に図る意味では、昨年12月18日にご存知のとおり、クリスマスパーティーを開催しご出席の方々のお元気な姿にお会いする事が出来ました。1 昨年と同様にコロナ禍での会食制限が有りましたが、ご出席の皆様には美味しい仕出し弁当をお持ち帰り頂くことで対応し、恒例の豪華景品多数のビンゴゲームと、以前の総会でも出演依頼をした慶應義塾OGの「マジシャン小梅さん」のマジックショーを楽しむことができました。



社会情勢として、国内においては幸いコロナ感染者の急激な減少の中、3月13日以降はマスク着用について大幅な緩和方針が打ち出され、5月8日からは季節性インフルエンザと同様の「5類」への分類変更へとなり終息に向かうことを期待しております。

他方、海外においては1年数か月となるロシアによるウクライナ侵攻が今もって続いており、誠に遺憾ながら、なかなか平和への道筋が見えないこと、また、トルコ・シリア大地震が2月6日に起き、この5か月余りにこれまでに6万人を超える犠牲者と家屋・施設の耐え難い崩壊が起きております。当会会員として何らかのサポートができないものかと考え、皆様にそれぞれの国の大使館への援助資金の振込先のご案内を致した次第です。

かかる状況にあります。2023年度の当会活動については是非とも各種同好会活動・行事を積極的に再開・発展して行くとともに、来年2024年4月19日は、松田博前会長及び諸先輩のご尽力により当会が創立されて早10周年を迎えることより、2023年度中に、創立10周年記念事業としての記念誌の発行準備、同記念行事企画準備を前段に進めていきたいと考えております。各位の一層のご協力をご理解をよろしくお願い致します。

最後になりますが、会員の皆様におかれましては、どうぞ、ご家族を含めてくれぐれもご健康維持に努めて頂き、明るく元気な日常生活を実現されますようお願い申し上げます。又、当会へのご理解、ご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。



総会後の懇親会

2023年4月16日（日）、第9回定期総会がサンパルネホールで開催されました。

ただ、サンパルネが市の施設であるため会場内での飲食がまだ制限されていました。

食事とお茶の提供はよいがアルコールは駄目という制限なので、三田会の懇親会としては不十分な対応となります。何回かお弁当をお持ち帰りいただくという対応を行ないましたが、せっかく会員同士集まれるのにお弁当では少し寂しいものです。

そこで、初めての試みですが、外部の飲食店で懇親会を開催しようということになり、東村山駅東口すぐの「はかた商店」で飲み放題コースを予約し、総会終了後にそちらに移動していただきました。

参加した会員の皆様には楽しんでいただけたと思いますが、幹事としては、単なる普通の飲み会で終わってしまったのではとの感想をもちました。やはり、サンパルネのホールでケータリングのパーティー料理を囲み、にぎやかに席を移動しつつ歓談できるスタイルの方が三田会の懇親会としては合っているのかなと思いました。

2023年5月8日以降、コロナの分類が5類に変更されたことにより、公共の施設でもアルコールを含む飲食ができるようになりました。

12月に開催を予定している当会のXmasパーティーでは、以前のようにご家族や近隣団体幹部を招待して開催できるものと思っています。楽しいXmasパーティーを企画しますので、多くの方の参加をお待ちしています。



<田中 康之 記>

近隣三田会との交流再開<所沢三田会>

コロナ感染の影響で、この3年間、近隣三田会との交流が中断していました。

6月4日の所沢三田会総会が交流再開のスタートとなり、当会では給田会長と私（斉藤）、東久留米三田会から、篠田前会長、山田副会長が出席、塾からは、中里課長、大下連合三田会事務局長、栗生塾基金室長が出席しました。

出席者は54名、当会総会出席者数の3倍です。

設立15年記念として、北川常任理事（医学部教授）が最近の癌事情についての講演を行いました。

教授は、数日前にNHKの番組、「きょうの健康」で手術が難しい食道癌の最新オペの解説をしていました。

北川教授は、食道癌のスーパードクターであり、日本人の3人に2人が罹患する癌についての解説があり、



高齢化する三田会会員にとっては貴重な講演となりました。

次に同好会の世話人から同好会の現状と勧誘があり、多種の同好会と活動の活発さの違いを感じました。

<齊藤 忠義 記>

同好会通信♪

☆ゴルフ同好会☆ (16名)

【世話役 豊本節雄 (S53 年卒) 連絡先 stoyo512@yahoo.co.jp TEL 080-3177-3825】

第11回同好会ゴルフ開催 (5月18日 於 立川国際カントリー倶楽部・奥多摩コース)

快晴の下、6名、2組で同好会ゴルフコンペを行いました。気温が30°Cを超える予報の中、皆さんの体調を心配しましたが、各自の熱中症対策に加え、木陰を抜ける風が心地よかったことなどもあって、なんの問題もなく、楽しくプレーをすることができました。

結果は、小駒さん (S50 卒) が優勝、内田さん (S38 卒) が準優勝、神尾さん (S56 卒) が3位となりました。ベストグロは、この春から入会された水上さん (S53 卒) でしたが、ルールの悪戯で残念ながら5位になってしまいました。武田さん (S44 卒) は4位、幹事の豊本 (S53 卒) は、最下位でした。

なお、次回コンペは、11月中旬に行う予定ですが、なんとか、念願の3組での開催ができればと思っています。多くのメンバーの参加と入会者が増えることを期待しています。

ゴルフ同好会へ入会してもいいかな、と思われる方は、ぜひ、ご連絡ください。お待ちしております。

<豊本 節雄 記>

☆あるいて三田会東村山☆ (15名)

【世話役 鈴木 実 (S50 年卒) 連絡先 minoru_s@1975.jukuin.keio.ac.jp TEL 090-6539-8336】

「この指とまれウォーキング」 4月19日 羊山公園「芝桜の丘」散策!

今回の参加者は3名、久しぶりの参加の堀川さん、小島さん、私の3名です。

数日間も続いていた雨が、「晴れ男=私」の神通力のせいか前日と打って変わって絶好のウォーキング日和となりました。

駅前で担当スタッフの方に頼んで記念撮影。11時少し前にスタートしました。マップには2つのコースがありましたが、私たちは距離が短く、アップダウンの少ないコースに行くことに。

スタートして約15分で、最初のポイントの宇根八阪神社へ。外からチラッと見てさらに約10分歩いて本日のコースのメイン「羊山公園」の入り口に到着。いよいよお目当ての芝桜をじっくりと鑑賞します。

と、思いきや芝桜の丘への入場手続きをする人、人、・・・人。



入場券を買って会場に入るまで約40分待ち、やっと受付を
通ってすぐ目の前に広がる待望の芝桜の丘へ。見頃か、まだま
だか、もう盛りを過ぎたか？

羊山公園は「春になると約10万平米の敷地に約40万株も
の芝桜が咲きます」との宣伝文句に偽りなし。まさに見頃も見
頃のジャストタイミング！

ピンク、白、赤などの花が大きな絨毯のように広がり、見上
げると抜けるような青空という絶好の写真スポット！すり鉢
状に展開する芝桜の丘をゆっくり、じっくりと鑑賞しました。



ここからはゆっくりとした下り坂、途中「牧水の滝」を見てゴールの西武秩父駅へ歩くこと約30分。

駅構内のフードコートにて遅い昼食です。昼食後、秩父線が1時間に2本の運行のため買い物もせず発車
2分前の電車に乗り、所沢駅にて解散となりました。

「この指とまれウォーキング」 5月9日 吾野の清流 高麗川沿いの山道を歩く！

午前10時30分、西武鉄道・吾野駅に集合。エントリーしたものの急用
でキャンセルした方が出て、結局3人でのウォーキングとなりました。

湧水がしみ出る地下道をくぐり、荒川水系のひとつ高麗川を右に見ながら
山道を歩くと東郷公園に。

ここは昨秋のウォーキングで訪ねた場所で、中腹の東郷元帥の銅像をお参
りするとどめ、下山しました。再び高麗川沿いの山道に。しばらく上りが
続きます。ニセアカシアの白い花、フジのうす紫色の花が新緑の中から時々
顔を出し、楽しませてくれます。

陽射しは木々の葉がやわらげてくれますが、少々汗ばむほどの暖かさで
す。上りきった所でひと息ついた後、少し下ると「休暇村 奥武蔵」に。こ
こは、奥武蔵自然公園内の宿泊・日帰り温泉施設で、その中庭にあるテー
ブルを借用し、少し遅い昼食をとりました。

持参した弁当を食べながら、話題はさまざま、楽しいひとときとなり
ました。

水分補給とエネルギーを蓄えた後、今度は高麗川を左に見ながら国道2
99号線に沿って進みます。帰りの電車の時刻表を念頭に歩行速度を調整
しつつ、無事にゴール地点・西吾野駅に着きました。

清流に導かれ山道を歩き、新緑と森林浴を楽しみ、心身ともに癒された
一日となりました。



<鈴木 実 記>

☆麻雀同好会☆ (21名)

【世話役 田中康之 (S52年卒) 連絡先 vvtanaka@m7.gyao.ne.jp TEL 080-6528-0202】

コロナ禍には細心の注意を払いながら、活動を継続していましたが、皆、”通常“に戻れる日々を待ち望ん
でいました。

塾生だった時代に講義の合間にキャンパスを抜け出して、学友と時間を過ごした麻雀ですが、時は流れ、
時代が変わったのか、我々が変わったのか、金を賭けることもなく、煙草や酒もなく、全自動卓でのゲーム

になりました。しかし、皆の目は真剣で勝負への執念は消えていません。

楽しい日々を過ごせるのも幹事として、毎回調整して下さる田中さんや場所を提供して下さる久米川ウイング通り“優”のスタッフの皆様のおかげです。麻雀は一人ではできません。最低4人が必要です。

ここで卓を囲んだのも何かの縁です。今後も楽しく過ごしていきたいと思います。

<月出 英樹 記>

最近の成績

年月	2022年						2023年				
	4月	5月	6月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
優勝	斉藤	熊谷	小駒	田中	飯塚	清水	河崎	河崎	神尾	河崎	熊谷
2位	岡崎	神尾	熊谷	月出	清水	田中	朝倉	岡崎	小駒	廣田	清水
3位	熊谷	河崎	朝倉	岡崎 飯塚	田中	朝倉	月出	廣田	河崎	清水	河崎
参加	8名	8名	12名	12名	8名	8名	12名	12名	12名	8名	8名

☆俳句同好会☆ (9名)

【世話役 佐藤嘉江子 (S57年卒) 連絡先 kae_ztjjz@yahoo.co.jp TEL 090-1734-7582】

私と俳句同好会との関わりは、2014年4月に開催された東村山三田会設立総会で、同好会の活動を希望するメンバーを募った際に、なんとなくボードの前にいたら強く勧誘を受けて思わず名前を書いてしまったことから始まったようです。

人生の中で俳句というものに関わりは無く、芭蕉や一茶といった有名な句は一般常識としては知っていましたが、自分で詠むということは考えたことはなかったという初心者のレベルでした。

そんな私でもなんとか続けてこられたのは、毎月開催される「句会」が面白いことに尽きます。

句会では、3句提出して、それを参加者がよいと思う句を4句選び、それぞれについての講評を発表していきます。

自分が詠んだ句がどう評価されるか、自分の意図がきちんと伝わる句が詠めたのかは、とても参考になります。自分だけが納得していて全く違う意味に取られてしまう句もあります。

また、他の方なるほどと思わせる句は、自分の発想には無いものが多いです。

時間をかけてしっかりと推敲して結構自信があった句がほとんど評価されず、締め切りに追われやっつけで詠んだ句が高く評価されることがあることも興味深いです。

未だに私が俳句を理解できていないことなのでしょうが。

俳句同好会は、2014年12月に第1回の句会を開き、以来、コロナ禍でも書面句会を開催するなどほぼ毎月活動を続けてきました。

2023年5月までで96回の句会を実施しており、今年9月が記念すべき第100回の句会になりそうです。

初心者大歓迎の俳句同好会ですので、興味のある方は一度句会をのぞいてみませんか。

<田中 康之 記>

浜宿の帳場に揺れる吊し雛	凡水
吹初のバッハ亡き師の音を模して	かえる
野地蔵や蜜柑一つを御前に	弦六
永き日や四限ののちの大銀杏	丸女
ゆるゆると終活始む日永かな	岳徒
永き日のマスター寡黙客沈思	蓑
駅伝のピストルに飛ぶ初雀	栗丸
富士の嶺かがよふ多摩の初景色	千枝子
立春大吉「閉店」と張り紙す	蹴平

☆ボウリング同好会☆ (15名)

【世話役 給田俊哉 (S43 年卒) 連絡先 t.taida-vn@i.softbank.jp TEL 090-6540-3927】

5月の参加者は、給田、田崎、相川、田中、月出、朝木の6名と見学の私(斉藤)でした。

昼食は、いつものダイヤ寿司ですが、久々に参加するとランチの値段が上がっていました。

最高スコアは、1ゲーム目が田中さんで156点、2ゲーム目は田崎さんで132点でした。

140点以上をとるためには、易しい残りピンは確実に取れる必要があります。

田崎さんは極端にカーブする球筋で、ガーターかストライクか紙一重の投球です。

田中さんは1ピンと3ピンの間を狙う定石の投球で、玉の回転が効くと一瞬で全ピンが飛ぶ感じです。

スペアが上手にとれると180点くらい簡単にとれてしまうほど安定感があります。

給田会長は腕力でストライクを取りますが、球が手から落ちガーターになることもあります。

相川さんはスコアに波があり、月出さんと朝木は体力不足がスコアに影響しています。

斉藤は、昭和40年代にボウリングブームがあり、取引先のボウリング場でマイボウルを作り、朝7時から1時間練習後、支店に出勤するという日々もありましたが、現在は、腰椎の圧迫骨折により見学のみになりました。

ボウリングは、骨粗鬆症の予防策となり、かつ、会員同士の交流を図れる機会ともなりますので是非ご参加ください。

< 斉藤 忠義 記 >



☆慶美会(スケッチ同好会)☆ (6名)

【世話役 清水英男 (S38年卒) 連絡先 hidshim@jt.ejnet.ne.jp TEL 090-2655-9231】
コロナ禍により活動休止中

☆カラオケ同好会☆ (20名)

【世話役 斉藤忠義 (S44年卒) 連絡先 yasaka_kumegawa@yahoo.co.jp TEL 090-7005-9959】
コロナ禍により活動休止中

☆食べあるukai?(グルメの会)☆ (25名)

【世話役 櫻井正廣 (S46年卒) 連絡先 msgemini30@gmail.com TEL 090-1767-1617】
コロナ禍により活動休止中

☆今後の活動の予定☆

2023年07月15日 第16回誕生会
2023年10月15日 連合三田会大会
2023年12月23日 Xmasパーティー

☆会員の情報☆

会員数 74名 (2023年6月1日現在)
新入会員 水上隆司さん、柴崎 聰さん、廣瀬昇弘さん、駒形知之さん

会員通信 原稿募集！！

会員の皆様からの原稿や写真を募集致します。
テーマは「塾、東村山」を始め、特に限定は致しません。掲載の可否は役員会で決定致します。
誌面の都合上写真の取捨選択を含め若干の手直しをお任せ頂きたいと存じます。
文字数は200～400字程度で「氏名、卒年、学部」を添えて次の応募先に応募してください。
郵 送：〒189-0014 東村山市本町3-9-10 東村山三田会 会員通信 原稿応募係 廣田眞一
メール：higasimurayama_mitakai@yahoo.co.jp

ホームページ 投稿募集！！

同様に、ホームページ掲載する会員の皆様からの原稿や写真を募集しています。
字数や写真枚数の制限は会報より大きく、かなり自由な表現が可能です。
投稿される方は、ホームページ担当(田中)までご連絡ください。
メール：vvtanaka@m7.gyao.ne.jp

編集委員 廣田眞一・斉藤忠義・田中康之